

ぼくらは本町幼稚園



* 曲中の×音符は、特定の音高ではなく、しゃべるように発音する。

ぼくらは本町幼稚園

ぼくらは本町幼稚園

ここは奇跡のたからばこ！

水族館でもつくってみよー！

サメってキバってあったっけ？（あるよー！ ないよー！）

ようし図鑑を見てもよー！

いつもミラクルうみだせる！

おれらは本町幼稚園

ぼくらは本町幼稚園

ここはみんなの夢の国！

どんぐりぶるぶる歌ってるう！

生き物かんさつしてみよー（いっいーよ！ うん！）

きせきがいっぱい見えてくるー！

いつもパワーをあげられる！

おれらは本町幼稚園

<作詞の背景>

近隣の幼稚園（本町幼稚園）が、今年度末に閉園します。

そこで、積極的に連携を進めようということになりました。

その一つが「中学生が音楽の授業でつくった歌を幼稚園に提供する」というものです。

本町幼稚園の先生が園児が日々の生活の中で発する言葉から「いいな」と思ったものを書き留め、その言葉を材料として、中学生が詩を編みました。

それが、この詩です。

様式 I

授業概要シート

学校名	渋谷区立渋谷本町学園中学校
指導者	今井 由喜
題材名	言葉を生かして歌をつくろう
教材名	栗原正巳「パパママぼく、いぬネコぞう」、CM ソング など
対象学年	中学 2 年
指導時数	5 時間
授業の流れ	<p>① 「パパママぼく、いぬネコぞう」のよさを見つける。 次のことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚と旋律の動きが一致している。 ・言葉のイメージを旋律の動きやリズムで表現している。 <p>② 歌をつくる練習課題として、教科書「My Melody」（教育芸術社「中学生の音楽 2・3 上」p.36~37）に取り組む。 次のことに留意してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚と旋律の動きを一致させる。 ・俳句や言葉のイメージを旋律の動きや音域で表現する。 <p>③ 生徒がつくった詩*に旋律をつける（最低 2 行以上） つくる方法には次のようなものがあった。 (A)～(C)は指導者が提示したやり方。(D)は生徒が希望したやり方。</p> <ul style="list-style-type: none"> (A) 歌ってつくり、録音する。 (B) 楽器（アルトリコーダー、キーボード、木琴）を使いながら歌ってつくり、録音する。 (C) カトカトーン（教育芸術社による Web アプリ）を使ってつくる。 (D) ギターでコード進行を決め、そのコード進行を演奏しながら歌ってつくる。 <p>④ 詩全体に旋律を付けられたものを、本町幼稚園に届ける。</p> <p>*近隣の幼稚園（本町幼稚園）が、今年度末に閉園するにあたり、積極的に連携を進めようということになりました。その一つが「中学生が音楽の授業でつくった歌を幼稚園に提供する」ことです。本町幼稚園の先生が園児が日々の生活の中で発する言葉から「いいな」と思ったものを書き留め、その言葉を材料として、中学生が詩を編みました。</p>

*作品が優秀賞・優良賞を受賞した場合、このシートの内容は『東京都中学校音楽創作コンクール』冊子に掲載されます。